

各 位

2005年1月31日
日本特殊陶業株式会社
取締役社長 加藤倫朗

中国における酸素センサ生産開始の件

当社はこのたび、2003年4月に設立しスパークプラグの製造販売活動を行っている上海特殊陶業有限公司内に、酸素センサの生産ラインを新設することを決定しました。2006年後半の生産開始を予定しており、年産100万個能力でスタートし、その後順次拡大を見込んでいます。

酸素センサは排ガス中の酸素濃度を測定し、有害物質を低減することを目的に最適な空燃比を制御する為の情報を車載コンピューターに提供する、排ガス浄化システムの中核部品です。

当社では今後急激に拡大することが見込まれる中国での自動車ビジネスに対応するため、スパークプラグに続き酸素センサにつきましても、昨年6月に発表された新中国自動車政策にもあるように環境や省燃費への対応が一層求められているという背景に加え、中国に進出している世界中の自動車メーカーからの現地供給要請にも応えるため、既に体制作りのできた現生産拠点にて生産を開始することにしました。

[ご参考] 上海特殊陶業有限公司の概要

会社設立：2003年4月16日(2003年12月からスパークプラグの生産開始)
所在地：上海市松江工業区
資本金：5億円(当社全額出資)
工場規模：約1,900㎡ X 2棟(新設の酸素センサライン含む)
従業員数：約90名(内、日本人出向者6名)

添付資料：工場所在地図、工場外観写真

以上

(お問合せ先)

総務部広報課長 三木俊明 TEL：052 - 872 - 5896

上海特殊陶業有限公司
所在地



工場外観

